

内水解析の進捗状況についてお知らせします

新庄河川事務所では、緊急治水対策プロジェクトの一環として、最上川の水位低減を目的とした河道掘削等の治水対策を実施しております。今回は、これまでにいただいた内水対策へのご意見・ご質問について、**最上川の水位低減による内水リスクの低減効果**にクローズアップしてお知らせいたします。今後、内水シミュレーションの解析結果をもとに、**内水対策を実施する山形県及び大石田町と連携した取り組み**について協議し、内水対策について地域の皆様と意見交換を行いたいと考えております。

これまでにいただいたご意見・ご質問にお答えします

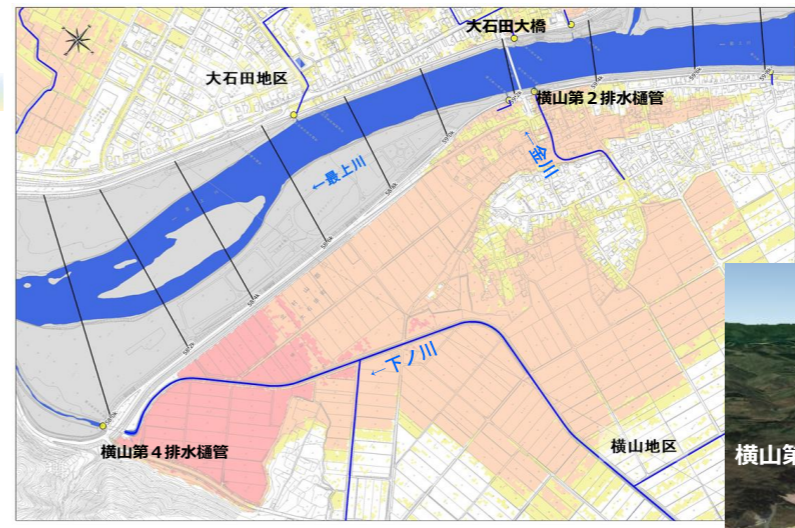
Q 最上川の水位が下がると内水被害が軽減されるのはなぜ？

A 最上川に設置している**排水樋管の閉止時間が短くなる**からです。洪水時には、最上川の水位が上昇し、お住まいの地域に川の水が逆流するのを防ぐため、排水樋管の扉(ゲート)を閉じます。扉を閉めている間は、地域に降った雨水が川に流れ込むことができないため、扉の閉止時間が長くなると滞留した雨水等により内水被害が発生してしまう場合があります。**緊急治水対策プロジェクトによる河道掘削や上流部にある遊水地の改良により、最上川の水位を低減させることで、排水樋管の閉止時間を短縮し、いわゆる内水被害を軽減**することになります。

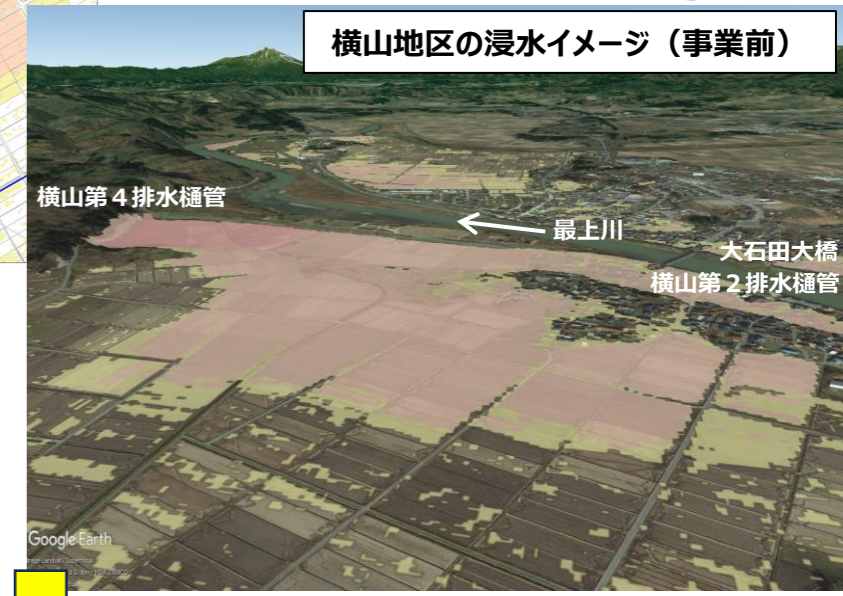
Q R2.7豪雨は大石田町より上流の降雨量が多く洪水が生じたが、くわえて大石田町周辺の降雨量が多い場合の内水被害を想定しているのか？

A 今回実施した内水シミュレーションは、最上川を流れる水の量(流量)が多く、大石田町周辺の降雨量も多い、内水被害が生じやすい条件で検討しております。最上川の流量は、令和2年7月洪水(既往1位)、降雨量は過去の降雨データのうち、大石田町周辺の降雨量が多いパターン(平成9年6月梅雨前線豪雨)を採用し、大石田地点において**令和2年7月豪雨よりも厳しい条件で検討**を行いました。事業実施前後の内水シミュレーションにより、**浸水エリアの縮小や浸水深の低下**など**内水リスクの低減効果を確認**しました。

事業実施前後の内水シミュレーションの比較 (横山地区)

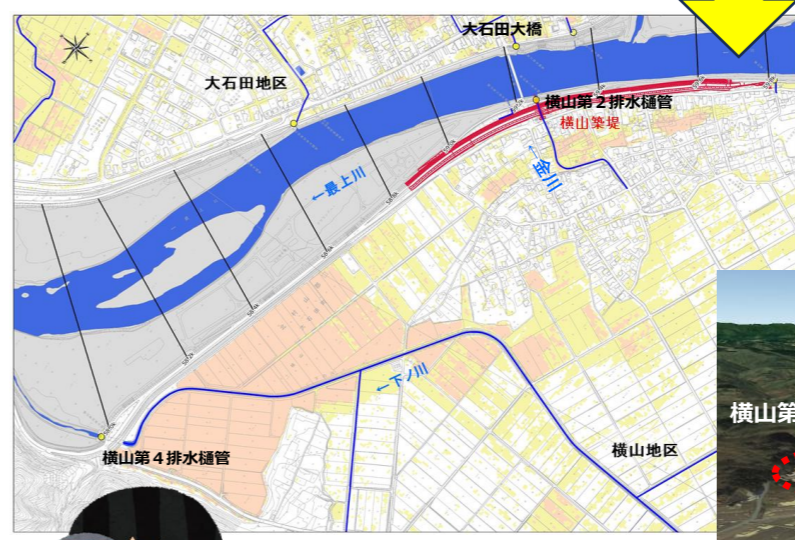


事業実施前 (令和2年末)の内水シミュレーション



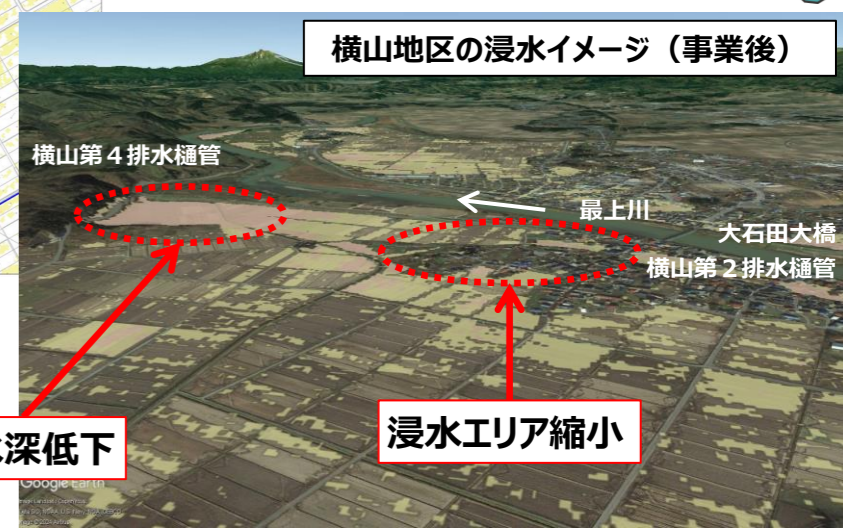
浸水想定
浸水した場合に想定される水深

0.5m 未満の区域
0.5m~3.0m 未満の区域
3.0m~5.0m 未満の区域
5.0m~10.0m 未満の区域



事業完了後 (令和11年末※)の内水シミュレーション

※事業完了後のシミュレーションであり、現時点での効果発現を示すものではありません。



排水樋管の役割と内水被害のメカニズム



平常時、川の水位が低いときは、排水樋管の扉(ゲート)は開いていて、排水路や沢などからの水を最上川に流しています。



洪水により最上川の水位が高くなると、川の水が排水樋管を通して住宅側に流れ込み(逆流)、浸水被害が発生してしまうため、排水樋管の扉(ゲート)を閉めます。



最上川の水位が低くなり、住宅地への逆流の心配がなくなったら、閉じていた排水樋管の扉(ゲート)を開き住宅地に貯まった水を最上川に流します。



排水樋管の扉(ゲート)を閉めると、排水路や沢などの水の行き場がなくなり、住宅地が浸水してしまう場合があるため(内水被害の発生)、排水ポンプで排水※するなどの対策を講じます。

※最上川の水位が計画高水位を超える場合、堤防決壊のリスクが高くなるため内水排除は停止します。



緊急治水対策プロジェクトで内水排除のための排水機(ポンプ)場の整備はできないのか？

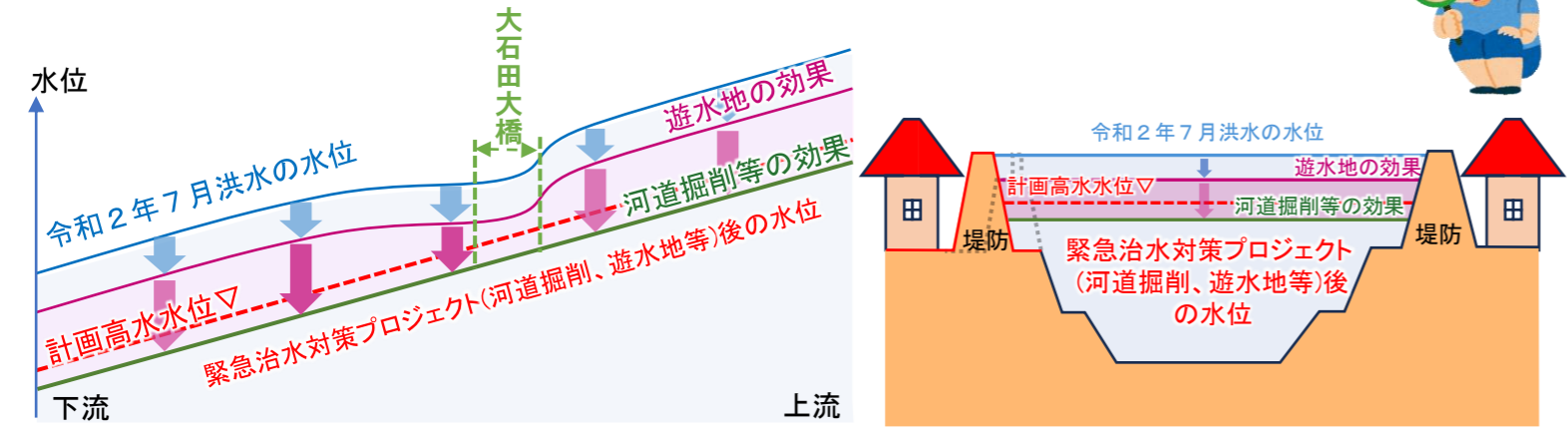
A 今回の事業では、排水機(ポンプ)場の整備は計画しておりません。緊急治水対策プロジェクトにおいて、**国は最上川の水位低減による流域の浸水被害軽減を目的**としています。内水被害に対しては、最上川の水位を低減することで内水リスクを低減させることにくわえ、今回実施した内水シミュレーションをもとに、最上川に流れ込む支川や水路が内水にどのように影響しているのかを解析し、支川や水路の**管理者(県、町等)が実施する内水対策の検討を支援**します。最上川の氾濫や内水被害によりお住まいの地域に浸水が生じた場合には、大石田町からの要望を受け、一定のルールのもと国交省が保有する排水ポンプ車の派遣を判断いたします。



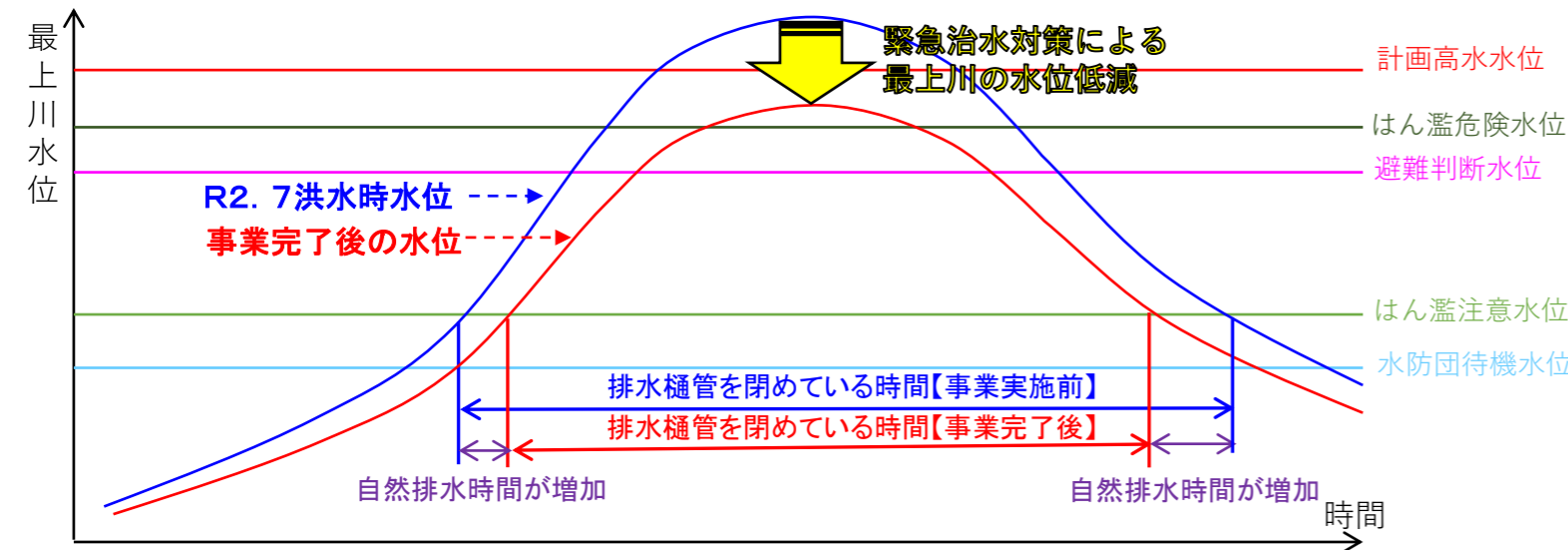
排水ポンプ車出動状況 (R2.7豪雨 横山第二排水樋管)

緊急治水対策による水位低減効果と排水樋管の閉止時間の短縮イメージ

緊急治水対策による最上川の水位低減効果 (イメージ)



事業実施前後の排水樋管の閉止時間の短縮 (イメージ)



※はん濫注意水位程度で樋管ゲートを開閉した場合を表現したイメージです (実際の開閉操作とは異なります。)

小中学生を対象としたかわまちづくりワークショップを開催



7月8日(月)、9日(火)に大石田町内の小学4年生43名と中学1年生38名を対象としたかわまちづくりに関するワークショップを開催しました。小学4年生のワークショップは、町内3校合同のサンスタディの一環として、「最上川でやってみたいこと！」をテーマに柔軟な発想でアイデアを話し合いました。中学1年生のワークショップでは、「いまの自分たち」がやりたいことと「10年後の自分たち」がやりたいことの異なる2つの視点から5つのグループに分かれて検討し、将来のまちづくりについてアイデアを発表しました。

小学生ワークショップ

中学生ワークショップ



ワークショップに向けて事前勉強会も行いました。

大石田大橋をバックに『水辺で乾杯』！

7月7日(日)に舟役所大門跡を会場に「水辺で乾杯」を開催しました。大石田町では、今年が初めての開催でしたが、約50名の方にご参加いただき、午後7時7分に大石田のシンボルである「大石田大橋」をバックに盛大に乾杯しました。生憎の雨模様でしたが、水辺空間がもつ魅力を再発見することができました。



【もがみがわ中流・上流 緊急治水対策プロジェクトのお問い合わせ先】

治水対策に関する疑問や意見についてお気軽にお問い合わせください。移転に伴う不安や問題についても、遠慮なくご相談ください。

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
 事業計画に関すること/難波 (TEL)0233-22-0254
 用地に関すること /三部 (TEL)0233-22-0253
 国土交通省
 ホームページもご覧下さい
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjou>

大石田町 建設課
 治水・定住対策グループ/松田
 (TEL)0237-35-2111
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>
 そばにーるくん